

令和6年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【STEAM教育推進校用】

学校番号	12
学校名	富山県立富山高等学校

重点課題	自己のウェルビーイングの向上をとおし人類の発展的未来に貢献する人材の育成
課題設定の趣旨	本校は「自学・自楽する18歳へ」をグラデュエーション・ポリシーとし、プロジェクト学習やSTEAM教育等の推進により、教科等横断的な思考力や創造力、批判的思考力を涵養したいと考えている。社会や地球の将来と自分の将来との重なりを認識し、発展的未来の創造に役割を果たすため、主体的に課題を発見し解決する力や他者と協働して解決策を生み出す力を育成することで、教育目標に掲げる「人類の発展的未来に貢献する人間の育成」に努めていきたい。そのための方策として、次の3点を柱として取組を進めることとした。 1 外部の資源を活用したSTEAM教育の推進 2 探究活動の充実につながる評価の実施及び各取組の効果の検証 3 STEAM教育推進のための教員の指導力向上
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	魅力ある高校教育を通したウェルビーイングの向上と、教育目標に掲げる「人類の発展的未来に貢献する人間の育成」を目指す。まず、一人ひとりのウェルビーイングの向上と課題への挑戦を実現する教育、課題発見と解決を導く探究力の育成のため、STEAM教育推進に係る教員の指導力向上が求められる。また、探究活動の評価を改善することで、生徒自身の自己分析能力等を高め、探究活動の一層の充実を図るとともに、外部資源を開拓し、その継続的活用による持続可能なカリキュラムの構築を進めたい。さらに、他の高校や中学校等への実践成果等の発信をとおして、県内におけるSTEAM教育の横展開の推進・普及に努めていきたい。
実施内容 (具体的に記入する)	1 外部の資源を活用したSTEAM教育の推進 ① 高等教育機関、地域と連携した探究活動の実施 ・「総合的な探究の時間」において富山大学・地元企業などと連携し、課題解決策を創造する教科等横断的な探究活動を実施 ・課題研究において、ウェルビーイングの視点を取り入れた研究テーマを設定 ② 中学校や地域への、教科等横断的な学習の実践成果等の発信と意見聴取 ・保護者や地域の方々、他校生徒や中学生等を対象に、ポスターセッションを実施 (文化活動発表会、探究科学科三校合同課題研究発表会、とやま探究フォーラム) ③ STEAM教育の実践における情報収集と発信に伴う統計分析手法や情報モラルの研修 ・データサイエンス、著作権法に関する講座を実施 2 探究活動の充実につながる評価の実施及び各取組の効果の検証 ① ルーブリックの作成と、教育活動全体をとおした活用 ・「富山高校で育む10の力」について評価するルーブリックを作成 ・生徒の自己評価を学期ごとに実施することで生徒の変容を把握し、教育活動の効果を検証 ② 探究科学科教育研究会等における評価手法の情報収集と改善 ・探究科学科教育研究会において、三校の探究活動の実施状況や評価等における課題を情報共有 3 STEAM教育推進のための教員の指導力向上 ① STEAM教育先進校の視察(京都市立堀川高校) ② STEAM教育先進校の教員による講座(石川県立金沢泉丘高校) ③ STEAM教育推進校による合同研修会(富山中部高校、高岡高校、2回実施) ④ 「学びのイノベーション・プラットフォーム」への特別会員としての参画
取組の成果 (STEAM教育推進の観点から)	今年度は、学校の教育活動全体においてSTEAM教育、教科等横断的な学びをとおし、様々な分野における探究的な学びの姿勢と論理的思考力を培い、社会課題の解決に貢献できる人材の育成に取組んだ。 1学年は外部講師を活用し「考えるための技法」を自在に活用するための方法論を学びながら基礎的な探究学習に取り組む、地域企業と連携した課題研究に挑戦した。2学年は高等教育機関等と連携しながら、各学問領域の課題解決に向けて、仮説の設定・検証・考察といったプロセスをとおして探究的思考を深め、対話的・協働的な学びを充実させた。3学年は1・2学年次の探究活動での学びを活かし、学校行事の企画・運営や学習等の様々な活動に意欲的に取組んだ。 また、校外におけるSTEAM教育の発信の機会を積極的に活用することで、中学校や地域、他の高等学校への実践成果等の横展開に寄与した。 評価に関しては、「富山高校で育む10の力」について評価するルーブリックにより、生徒の自己評価を学期ごとに実施することで生徒の変容を把握し、教育活動の効果を検証した。また、他のSTEAM教育先進校と評価手法について情報共有することで、評価の改善について検討を進めた。 教員の指導力向上については、STEAM教育先進校の教員による講座や情報共有に多くの教員が参加し、自らの知見を広げるとともに、具体的な指導法、汎用性のあるツール、科学的手法とはいかなるものか等を学ぶことで、実際の指導につながる研修となった。探究活動における教員の指導力向上が見込まれ、次年度以降も多くの教員がSTEAM教育を推進していく原動力になると思われる。
対象者(学年・人数など)	1学年普通科160名 1学年探究科学科80名 2学年普通科199名 2学年探究科学科79名
実施実績	4月 1学年普通科:「未来〇学」(総合的な探究の時間)(～3月)・1学年探究科学科:「探究基礎」課題研究(～3月) 2学年普通科:富山市地域課題の発信物製作(～10月) 2年人文社会科学科:「探究基礎」課題研究(～3月)・2年理数科学科「理数探究」課題研究(～3月)
	5月 1学年普通科・探究科学科:データサイエンス講習会 1学年探究科学科:巡検研修(人文社会科学科①[国語・国文学分野]) 2学年普通科:著作権・個人情報保護に関する講習会
	6月 1学年探究科学科:巡検研修(人文社会科学科②[英語・国際分野]) 探究科学科パンフレット作成 学校説明会 教員:STEAMの学び研修会
	7月 1学年探究科学科:巡検研修(人文社会科学科③[地歴・公民分野]・理数科学科[物理・化学分野]) オープンハイスクール
	8月 2学年探究科学科:東京方面研修
	9月 1学年探究科学科:課題研究中間発表会 2学年探究科学科:課題研究中間発表会 1学年普通科:フィールドワーク研修(～12月) 2学年普通科:富山市地域課題発信物プレゼンテーション発表会 1学年普通科:探究科学科:フィールドワーク講習会 2学年普通科:課題解決アプリの製作(～2月)
	10月 教員:総合的な探究の時間・STEAM教育の先進的取り組み研修及び意見交換会
	11月 学校説明会
	12月 1学年普通科:フィールドワークによる課題解決学習発表会 1学年探究科学科:「探究基礎」科内発表会 1・2学年探究科学科:三校合同課題研究発表会
	1月 1学年普通科・探究科学科:課題研究メソッド講習会 1学年普通科:企業連携課題解決(～2月) 1学年探究科学科:サイエンスダイアログによる先進研究学習
	2月 1学年探究科学科(生物班)・2学年理数科学科(化学班):「とやま探究フォーラム」発表 1学年普通科:企業連携課題解決学習発表会 2学年探究科学科:課題研究科内発表会 2学年普通科:課題解決アプリの製作プレゼンテーション発表会
	3月 1学年探究科学科:研究集録作成 2学年探究科学科:研究集録作成